

これってどう?

このコーナーでは金融商品やサービスをクルー独自の視点で分析し評価していきます

第141回 ドライブレコーダーは購入と特約付帯、どちらがお得?

●広がるドライブレコーダー導入

あおり運転が社会問題となる中、注目を集めているのが映像記録型ドライブレコーダー(以下、ドラレコ)です。ドラレコとは、車両に大きな衝撃が加わった前後10数秒の時刻、位置、前方映像、加速度、ウィンカー操作、ブレーキ操作等を記録する車載カメラ装置のこと。最近、あおり運転では全国初の「強要」容疑が適用される事件がありましたが、ドラレコの映像が立件の決め手になったようです。あおり運転だけでなく、交通事故で相手方とトラブルや口論になった際の「言った」「言わない」や、証言の食い違いを回避できます。

従来は、タクシーやトラックなど、運輸業界で交通事故や防犯対策のために装備するケースが多かったのですが、個人ドライバーにとっても、必需品になりつつあるようです。まだ数は少ないものの、一般市民を対象にドラレコ購入の助成を行う自治体も現れています。

ドラレコの機能もさまざまです。前と後ろにカメラを設置して同時撮影できるものや、当て逃げやイタズラ対策に有効な駐車監視機能付き、GPSや音声録画機能付き、前方の車との距離が接近しすぎると警告をしてくれたり、一定以上の速度で走行中に車線をはみ出ると警告をしてくれるなどの運転支援機能が付いたも

のもあります。価格は機能により異なりますが、おおむね1~2万円程度で手に入るようです。

●自動車保険にもドラレコ特約

自動車保険に特約を付けることにより、ドラレコが貸与され、各種サービスが受けられるものもあります。現在のところ、あいおいニッセイ同和、損保ジャパン日本興亜、東京海上日動、三井住友海上の4社が取り扱っています。事故の際の対応は4社ともほぼ共通しています。

ドラレコが大きな衝撃を検知すると自動的にコールセンターに通知され、専任オペレーターからの安否確認コールがあり、事故直後の初期対応に必要なサポートが行われます。衝撃が一定以下でコールセンターに自動通報されない場合は、ドラレコ画面上の緊急ボタンにより手動で通報を行います。自動、手動いずれの場合も、衝撃発生の前後合わせて15秒間の映像が「イベント記録」として保存され、内蔵された通信機能により、保険会社に自動送信されます。損保ジャパン日本興亜の「DRIVING!」は、提携するALSOKの「かけつけ安心サービス」を利用することができます。

また、4社はいずれも運転診断レポートの提供を行っています。運転データの分析結果を点数で見える化

し、運転スキルを客観的に確認して安全運転に役立ててもらおうというものです。

安全運転支援機能については、あいおいニッセイ同和と三井住友海上が高速道路逆走注意アラートなど、高齢者ドライバーを意識した内容となっています。また、東京海上日動はあおり運転対策が特徴で、ドラレコのボタンを押すだけで警備会社のオペレーターと音声通話が可能。どのように対応すれば良いかの相談や警察への通報依頼などができます。

●特約と自費購入どっちがお得?

2万円もあれば十分な性能のドラレコが購入できますので、価格だけを考えれば自費で購入するほうがお得です。しかし、リスク対策のための投資として、効果とコストが見合うと判断すれば特約を選ぶのもよいでしょう。なお、ドラレコ特約は保険期間中の途中付加が可能です。

第3の方法として、ドラレコは必要な機能を備えたものを自ら選んで購入し、自動車保険は事故対応のしっかりしたものにインターネット等で割安に加入するというのもあります。

運転技術や運転頻度、自動車での行動範囲などを踏まえて、どのようなリスクが想定されるのか、それらをカバーするための対策はどのようなものが考えられるかを整理してみ

てはどうでしょうか。
(クルー 内藤真弓)

【ドライブレコーダー特約の比較】保険期間1年

保険会社	あいおいニッセイ同和	損保ジャパン日本興亜	東京海上日動	三井住友海上
サービス名称/商品名	タフ・見守るクルマの保険(ドラレコ型)	DRIVING!	ドライブエージェン トパーソナル	GK 見守る クルマの保険 (ドラレコ型)
安全運転支援機能	車線逸脱アラート 前方衝突アラート 高速道路逆走注意アラート 指定区域外走行アラート	車間アラート	前方車両接近警告 片寄り走行警告 危険地点接近警告 あおり運転対策	車線逸脱アラート 前方衝突アラート 高速道路逆走注意アラート 指定区域外走行アラート
月額保険料	850円	850円	650円	850円